

**政策シート** (政策名) 快適な道路・川づくり  
(予算費目名) 道路企画費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標 ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①道路ネットワークの整備・強化

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	5,394,757	6,472,641	5,729,164	5,561,422
決算	6,630,874	6,895,763	5,995,794	
人件費(A)	89,500	97,200	107,940	96,600
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,720,374	6,992,963	6,103,734	5,658,022

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
現道改良の整備率	%	61.4	目標	60.3	60.8	60.9	61
			実績	60.4	60.8	H30.7確定	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①道路ネットワークの整備・強化

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

①コンパクトシティ、道路ネットワークの整備・強化に向け、道路改良事業の推進を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	道路関係調査事業			○		53,300	33,700	2.8				
2	市道整備事業	○		○		926,991	904,871	3.0			0.4	
3	国道道整備事業	○		○		911,284	889,164	3.0			0.4	
4	道路整備推進事業					33,210	26,210	1.0				
5	スマートインターチェンジ関連整備事業	○	○	○		1,158,210	1,150,510	1.1				
6	三遠南信自動車道関連整備事業	○	○	○		617,060	612,300	0.6			0.2	
7	国直轄道路事業(負担金)	○		○		1,870,400	1,869,000	0.2				
8	道路企画運営経費(一般諸経費のみ)					87,567	75,667	1.3			1.0	
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						#####	5,561,422	13.0			2.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 道路関係調査事業

## ◇事業目的・事業対象

安全で安心な道路空間の構築や維持管理コストの縮減・平準化を実現するために、現状の把握について調査・検討を行い、具体的な対策案を策定する。

## ◇事業の概要

### 【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査、東名三方原SIC 開通の効果検証を行う。

### 【浜松三ヶ日・豊橋道路検計業務】

H27より浜松三ヶ日・豊橋道路事業化に向け、「静岡・愛知県境道路に関する連絡会」にて、前回調査(H20～25)以降の新たな知見(国土のグランドデザイン2050等⇒人口減少・コンパクト+ネットワーク)を踏まえ、当該道路の必要性・重要性を再検証し、地域への影響・効果調査を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(法令義務)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	76,400	76,400	26,887	33,700
	決算	78,258	56,488	42,511	
	国・県支出	4,350	1,404	2,396	6,000
	市債				
	その他				
	一般財源	73,908	55,084	40,115	27,700
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		27,100	16,600	19,600	19,600
人工	正規	3.5	2.0	2.8	2.8
	再任用(h31)				
	再任用(h26)	1.0	1.0		
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【道路交通調査事業】

道路及び道路交通の現状を把握して、その実態と問題点を把握するために実施し、調査範囲は浜松環状線内渋滞状況調査、新東名開通の効果検証を行った。

【浜松三ヶ日・豊橋道路検討業務】

H27より浜松三ヶ日・豊橋道路事業化に向け、「静岡・愛知県境道路に関する連絡会」にて、前回調査(H20～25)以降の新たな知見(国土のグランドデザイン2050等⇒人口減少・コンパクト+ネットワーク)を踏まえ、当該道路の必要性・重要性を再検証し、地域への影響・効果を取りまとめた。

[決算42,511千円(うち前年度繰越17,009千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

【道路交通調査事業】

浜松環状線内及び関連道路の渋滞状況調査、新東名開通の効果検証を実施。

【浜松三ヶ日・豊橋道路検討業務】

概ねの起終点、経過地設定のための検討を実施。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・当初の計画通り、事業効果の検証を行った。引き続き、継続して取り組んでいく。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・j事業効果を把握するために、継続して調査を行う。

## 補助シート (事業名) 道路関係調査事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇	次期みちづくり計画策定 達成状況調査と基本 方針案の整理	次期みちづくり計画策定 計画案の作成 パブコメの実施		
〇〇	道路交通調査事業	道路交通調査事業	道路交通調査事業	

# 事業シート (事業名) 市道整備事業

## ◇事業目的・事業対象

東名高速道路など恵まれた交通環境を活かしたバランスの良い道路整備を促進するため、幹線道路を軸に地域の特性を配慮した補助幹線として、利用度が高く投資効果のある路線から重点的に整備を進め、安全で快適な生活環境を目指す。

## ◇事業の概要

市道整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国交付金事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>社会資本整備総合交付金事業</li> <li>道路改良(実施中) 2路線</li> </ul> </li> <li>・国交付金事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生道整備推進交付金事業</li> <li>道路改良(実施中) 4路線</li> </ul> </li> <li>・単独事業</li> </ul>
--------	--

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	728,684	1,249,885	950,914	904,871
	決算	1,018,339	986,529	1,108,466	
	国・県支出	198,571	251,067	338,488	215,850
	市債	310,500	429,600	280,800	589,600
	その他				
	一般財源	509,268	305,862	489,178	99,421
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		19,300	15,800	22,120	22,120
人工	正規	2.5	2.0	3.0	3.0
	再任用(h31)	0.5	0.5		
	再任用(h26)				
	非常勤			0.4	0.4

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
道路改良率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.3	59.6	60	60		60.4
実績値	59.5	60	H30.7確定			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

市道整備事業	・国交付金事業 [決算377,160千円(うち前年度繰越244,160千円)] 社会資本整備総合交付金事業 道路改良(実施中) 2路線
	・国交付金事業 [決算262,100千円(うち前年度繰越47,120千円)] 地方創生道整備推進交付金事業 道路改良(実施中) 4路線
	・単独事業 [決算469,206千円(うち前年度繰越24,506千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度
<input type="text" value="計画通り"/>
・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。

・事業の見直し

実施結果
大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/>
・生活道路である市道改良の推進を図った。
今後の方向性
大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/>
・事業用地を確保し、生活道路である市道の改良に今後も継続して取り組む。

# 事業シート (事業名) 国県道整備事業

## ◇事業目的・事業対象

政令指定都市移行後、県より移譲された国県道について、円滑な自動車交通ネットワークを構築するために道路整備を推進する。

## ◇事業の概要

国県道整備事業

- ・国交付金事業
  - 社会資本整備総合交付金事業
  - 国道:道路改良(実施中) 3路線 6工区
  - 県道:道路改良(実施中) 4路線 4工区
- ・市単独事業
- ・防衛施設周辺整備事業

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第17条	○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	996,478	1,113,225	1,116,494	889,164
	決算	1,945,826	1,359,455	1,281,060	
	国・県支出	581,296	350,506	471,381	267,649
	市債	531,900	415,500	363,900	568,500
	その他				
	一般財源	832,630	593,449	445,780	53,015
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		12,300	15,800	22,120	22,120
人工	正規	1.5	2.0	3.0	3.0
	再任用(h31)	0.5	0.5		
	再任用(h26)				
	非常勤			0.4	0.4

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
道路改良率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	68.6	68.8	69	69.1		69.6
実績値	68.7	69	H30.7確定			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						



◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

国県道整備事業	・国交付金事業 [決算850,132千円(うち前年度繰越421,342千円)] 社会資本整備総合交付金事業 国道:道路改良(実施中) 1路線 3工区 県道:道路改良(実施中) 3路線 3工区 ・単独事業 [決算425,486千円(うち前年度繰越47,568千円)] ・防衛施設周辺整備事業
---------	---

・事業の成果と課題

指標の達成度

・概ね、予定通りに進捗した。事業用地確保が出来ず、道路改良工事に着手できない箇所があった。

・事業の見直し

実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工

・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網の整備を進める。

今後の方向性  
大項目  小項目  /  事業費  人工

・コンパクトシティの実現に向けて、幹線道路網の整備を進める。

# 事業シート (事業名) 道路整備推進事業

## ◇事業目的・事業対象

道路整備事業に係る国庫補助事業の運営に必要な経費の管理。

## ◇事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	35,313	36,640	25,760	26,210
	決算	18,811	31,989	21,772	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	18,811	31,989	21,772	26,210
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	7,000	7,000	7,000	7,000
	正規	1.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

道路整備事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

道路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状 小項目  /  事業費  現状 人工  現状

今後の方向性

大項目  現状 小項目  /  事業費  現状 人工  現状

# 事業シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

## ◇事業目的・事業対象

東名高速道路の三方原パーキングエリア及び館山寺バス停にスマートインターチェンジを設置することにより、新たな広域交通の拠点を形成し、高速道路と一般道路のネットワークを強化することで、利便性の向上、産業・経済の活性化、観光交流を促進する。

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.83】

三方原及び館山寺スマートインターチェンジのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行います。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H31	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	609,108	1,053,024	887,810	1,150,510
	決算	991,880	1,549,914	785,992	
	国・県支出	434,694	616,992	315,035	360,800
	市債	482,900	846,300	432,100	657,300
	その他				
	一般財源	74,286	86,622	38,857	132,410
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		8,400	17,500	17,500	7,700
人工	正規	1.2	2.5	2.5	1.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
事業費ベースによる進捗率(%)				Ⅲ-1(1)イ		83
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	52	69	70	87	100	100
実績値	25	52	61			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.83】

三方原及び館山寺スマートICのアクセス道路となる有玉南初生線外6線の交差点改良・道路拡幅整備等を行い、三方原スマートICは予定通り開通した。

[決算785,992千円(うち前年度繰越226,570千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

(仮称)館山寺スマートICについては、土質調査の結果、軟弱地盤であることが判明し、本体構造形式の再検討に時間を要し、事業用地の取得の着手が遅れた。引き続き、早期の供用開始を目指していく。

また、三方原スマートICのアクセス道路となる(都)有玉南初生線(供用目標:平成31年度)の進捗が遅れているが早期の供用開始を目指していく。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・NEXCO中日本と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・NEXCO中日本と連携し、今後も継続して取り組んでいく。

平成30年度

(管理番号)  
03 04 02 01 002314000 05

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 30 年 7 月 1 日

## 補助シート (事業名) スマートインターチェンジ関連整備事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
83	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事  委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事  委託工事 ・スマートIC本体  ●三方原SIC供用開始	アクセス道路整備 ・用地、物件補償  委託工事 ・スマートIC本体	アクセス道路整備 ・用地、物件補償 ・道路整備工事  委託工事 ・スマートIC本体  ●館山寺SIC供用開始

# 事業シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

## ◇事業目的・事業対象

三遠南信地域への高速サービスの提供、災害に強い道路網の構築により、地域医療サービスの向上等、安全で快適な生活環境を確保するとともに、三遠南信地域間の交流促進や連携強化による地域の活性化を目指す。

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.83】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。  
 ・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良及び防災工事を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	H34	一般会計	自治事務(法令義務)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	126,803	404,980	369,903	612,300
	決算	104,334	380,921	553,112	
	国・県支出	6,600	126,500	212,552	218,790
	市債	4,800	101,900	230,200	160,900
	その他				
	一般財源	92,934	152,521	110,360	232,610
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,900	17,500	11,900	4,760
人工	正規	0.7	2.5	1.7	0.6
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				0.2

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
現道改良区間整備率(%)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	6	7	8	9		70
実績値	6	7	8			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
佐久間道路ICアクセス整備率(%)				-		83
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	40	70	100		100
実績値	20	35	80			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.83】

・平成26年3月に現道改良区間と位置付けられた国道152号(水窪北IC～水窪IC)の整備を進め、青崩峠道路等の高規格幹線道路を繋ぐ区間として直轄事業と同調した供用を目指す。  
・平成30年度の佐久間道路((仮)佐久間IC～(仮)東栄IC)の供用目標に合わせ、(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセスルートの改良工事を実施する。

[決算553,112千円(うち前年度繰越239,331千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

【重点戦略項目No.83】

・国道152号現道改良区間(水窪北IC～水窪IC)は、概略設計に引き続き、詳細設計を進めている。  
・(仮)佐久間IC及び(仮)浦川ICのアクセス道路は、三遠南信自動車道東栄IC～佐久間ICのH30開通に合わせ、整備を進める。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・三遠南信自動車道の開通に向け、国土交通省と連携し事業進捗調整を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・国土交通省と連携し、今後も継続して取り組んでいく。



# 補助シート (事業名) 三遠南信自動車道関連整備事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
	<現道改良区間整備> 道路・構造物設計 用地・物件調査	道路・構造物設計 用地・物件調査 用地買収 物件補償	改良工事着手 用地買収 物件補償	工事施工 用地買収 物件補償
83	<ICアクセス整備> 工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 設計 用地買収 物件補償	工事施工 供用

# 事業シート (事業名) 国直轄道路事業(負担金)

## ◇事業目的・事業対象

国土交通省直轄事業として行う国道整備事業への負担金

## ◇事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

- ①国道474号
  - 三遠・佐久間道路地域連携推進事業
  - 青崩峠道路地域連携推進事業
- ②国道1号
  - 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法第50条、交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条	○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	2,761,000	2,487,000	2,270,333	1,869,000
	決算	2,422,662	2,485,775	2,131,666	
	国・県支出				
	市債	2,206,700	2,258,500	1,681,900	1,682,000
	その他				
	一般財源	215,962	227,275	449,766	187,000
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		3,500	3,500	1,400	1,400
人工	正規	0.5	0.5	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。

①国道474号

○三遠・佐久間道路地域連携推進事業

○青崩峠道路地域連携推進事業

②国道1号

○維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器)

・事業の成果と課題

指標の達成度

国直轄事業の執行に伴い、必要な負担金の適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

国交省施工の三遠南信自動車道の進捗に合わせ、実施している。

# 事業シート (事業名) 道路企画運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	60,971	51,487	81,063	75,667
	決算	50,764	44,690	71,214	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	50,764	44,690	71,214	75,667
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	7,000	3,500	6,300	11,900
	正規	1.0	0.5	0.5	1.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤			1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

---

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

**政策シート** (政策名) 快適な道路・川づくり  
(予算費目名) 街路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	1,720,344	2,280,283	2,432,450	2,045,990
決算	2,064,657	1,940,991	2,282,692	
人件費(A)	31,500	17,500	17,500	17,500
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,096,157	1,958,491	2,300,192	2,063,490

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
都市計画道路の整備率	%	66.6(H30)	目標	64.2	64.2	64.9	66.6
			実績	64.2	64.2	66	
天竜川駅周辺整備事業 事業費ベースの進捗率	%	100	目標	17.8	42	88.6	100
			実績	17.8	42	88.8	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークを構築し、市民が安全で利便性が高く快適に暮らしやすいまちづくりを実現する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り  
都市計画道路の整備を進める事により、市街地における道路ネットワークの構築を図る事ができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市計画道路整備事業	○	○	○		1,490,145	1,483,145	1.0				
2	街路整備推進事業					13,630	10,130	0.5				
3	天竜川駅周辺整備事業	○	○	○		551,552	548,052	0.5				
4	鉄道施設安全対策助成事業				○							
5	街路事業運営経費(一般諸経費のみ)					8,163	4,663	0.5				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						#####	2,045,990	2.5				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 都市計画道路整備事業

## ◇事業目的・事業対象

都市圏主要幹線道路としての都市計画道路の整備を進め、都市内交通を効率的に処理し、都市部と周辺地域の道路ネットワークとしての連続性を確保することにより、市民生活の快適性を向上させる。

## ◇事業の概要

【重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】

・国土交通省所管事業の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。

・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,130,681	1,298,750	948,339	1,483,145
	決算	1,518,133	1,079,671	1,044,893	
	国・県支出	772,683	475,556	487,598	691,185
	市債	598,300	419,200	371,000	508,400
	その他				300
	一般財源	147,150	184,915	186,295	283,260
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		14,000	7,000	7,000	7,000
人工	正規	2.0	1.0	1.0	1.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
整備率(%)				-		82
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	64.2	64.2	64.9	66.6		
実績値	64.2	64.2	66			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市街地における交通の円滑化(平均旅行速度の向上)(km/h)				Ⅲ-4(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	26	26	26	26	30	30
実績値	26	25	25			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						



◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.82】

【国交付金事業】 [決算886,542千円(うち前年度繰越216,180千円)]

・国土交通省所管事業の所管の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金を活用し、事業のスケジュールを明確にした上で、街路事業の推進を図ります。

・(都)有玉南中田島線外5路線8工区(計9工区)において、選択と集中を図った上で、用地買収・物件補償及び工事を実施し、事業の進捗を図ります。

【市単独事業】 [決算158,351千円(うち前年度繰越18,260千円)]

・補助金(交付金)事業を補完するため、関連した路線(箇所)の整備を行います。

・事業の成果と課題

指標の達成度

都市計画道路の整備を進めることにより、市街地における道路ネットワークの構築を図る事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

当初の計画通り、事業の進捗を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

## 補助シート (事業名) 都市計画道路整備事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
82	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収</li> <li>・物件移転補償</li> <li>・道路改良工事</li> </ul>	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収</li> <li>・物件移転補償</li> <li>・道路改良工事</li> </ul>	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収</li> <li>・物件移転補償</li> <li>・道路改良工事</li> </ul>	<p>現在、事業認可を受けている事業を継続して整備していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収</li> <li>・物件移転補償</li> <li>・道路改良工事</li> </ul>

# 事業シート (事業名) 街路整備推進事業

## ◇事業目的・事業対象

街路整備事業に必要な登記事務等を実施し円滑な事業進捗を図る。

## ◇事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	14,200	9,220	8,000	10,130
	決算	8,435	5,743	2,045	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	8,435	5,743	2,045	10,130
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	3,500	3,500	3,500	3,500
	正規	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

街路事業に係る国庫補助事業を執行するために必要な経費の適正な予算執行を行う。

消耗品 : 収入印紙代

手数料 : 不動産鑑定手数料

登記事務 : 所有権移転・土地分筆登記

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴い、必要な経費の適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

当初の計画通り、必要な経費の適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

今後も継続して事業に取り組んで行く。

# 事業シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

## ◇事業目的・事業対象

JR東海道本線天竜川駅に自由通路をはじめとする駅周辺整備やアクセス道路を整備し、公共交通利用の交通結節点機能の向上を図ると共に、周辺地域の利便性を高め、駅を中心とした南北交流の架け橋となるよう、暮らしやすい地区環境を図る。

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	H30	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	567,998	813,560	1,464,025	548,052
	決算	532,519	812,159	1,225,333	
	国・県支出	248,182	381,150	597,833	269,354
	市債	241,400	380,600	506,600	198,200
	その他				
	一般財源	42,937	50,409	120,900	80,498
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		10,500	3,500	3,500	3,500
人工	正規	1.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
事業費ベースによる進捗率(%)				-		85
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	17.8	42	88.6	100		100
実績値	17.8	42	88.8			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
主要な駅、バス停の利用者(千人)				Ⅲ-4(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
実績値	27,017(H26実績)	27,575(H27実績)	27,632(H28実績)			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【重点戦略項目No.85】

JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の新設及び駅前広場の整備等を進めていく。

【国交付金事業】

【市単独事業】 [決算138,363千円(うち前年度繰越76,023千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

周辺地域の利便性向上のため、JR東海道本線天竜川駅の橋上化と南北自由通路の整備を進めることができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

当初の計画通り、事業の進捗を回り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も継続して事業に取り組んで行く。

平成30年度

(管理番号)  
03 04 02 02 002314000 03

(担当課)  
道路企画課

(責任者)  
菅谷 昌彦

(作成日)  
平成 30 年 7 月 1 日

# 補助シート (事業名) 天竜川駅周辺整備事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
85	仮駅舎建築	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事	自由通路築造工事 橋上駅舎建築工事 仮駅舎解体 ●供用開始	南北駅前広場築造工事 ●供用開始

**事業シート** (事業名) 鉄道施設安全対策助成事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

大規模地震による鉄道施設の被害の拡大や未然防止を目的とする鉄道施設安全対策事業要する経費の一部を、国と協調して補助することで、鉄道利用者の安全確保や発災時の緊急応急活動の機能確保を図る。

◇事業の概要

橋脚補強8基、駅舎柱補強4基

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	H29	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算		151,667	5,000	
	決算		38,072	5,000	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源		38,072	5,000	
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)					
人工	正規				
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						



◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

駅舎柱補強4基

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

・事業の見直し

実施結果

大項目 終了 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 終了 小項目 / 事業費 人工

# 事業シート (事業名) 街路事業運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	7,465	7,086	7,086	4,663
	決算	5,570	5,346	5,421	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	5,570	5,346	5,421	4,663
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

街路事業の執行に伴う適正な予算執行を行う事ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

当初の計画通り、適正な予算執行を図り成果が発揮された。

今後の方向性

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

今後も継続して事業に取り組んで行く。

# 政策シート

(政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 河川費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。  
(河川改良、浸水対策支援)

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	1,016,163	1,091,987	958,171	1,013,668
決算	937,491	1,060,710	946,192	
人件費(A)	31,880	28,020	31,180	34,700
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	969,371	1,088,730	977,372	1,048,368

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
《河川法》河川の整備済み延長	km	87.0	目標			86.2	86.3
			実績			86.2	
			目標				
			実績				
			目標				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。  
(河川改良、浸水対策支援)

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

・効率的な浸水対策を進めるための「浜松市総合雨水対策計画」の重点対策エリア抽出、エリア別計画の策定。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	河川改良事業	○	○			1,010,961	989,961	3.0				
2	浸水対策支援事業	○	○			18,100	16,000	0.3				
3	河川運営経費(一般諸経費のみ)					19,307	7,707	1.4	0.5			
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						#####	1,013,668	4.7	0.5			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 河川改良事業

## ◇事業目的・事業対象

・豪雨による浸水被害を防止・軽減するため、調査・検討を行い、計画的に河川・排水路の改修を実施する。

## ◇事業の概要

### ◆国交付金事業

・(二)九領川 改修

### ◆単独事業

・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定  
 ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
		一般会計	自治事務	河川法	○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,002,000	1,068,900	930,380	989,961
	決算	928,443	1,046,983	927,035	
	国・県支出	27,280	23,160	22,172	62,666
	市債	10,500	405,900	166,200	365,300
	その他	9,000	350,000		
	一般財源 一般会計繰入金	881,663	267,923	738,663	561,995
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		21,700	16,800	19,600	21,000
人工	正規	3.1	2.4	2.8	3.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
《河川法》河川の整備済み延長 (km)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			86.2	86.3	86.4	87.0
実績値			86.2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

◆国交付金事業 [決算33,260千円(うちH28繰越15,260千円)]

・(二)九領川 改修

◆単独事業 [決算893,775千円(うちH28繰越229,497千円)]

・浸水被害の調査、対策検討、治水計画策定  
 ・市管理河川(二級河川・準用河川・普通河川等)改修

・事業の成果と課題

指標の達成度

・効率的な浸水対策を進めるための「浜松市総合雨水対策計画」の重点対策エリア抽出、エリア別計画の策定。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・河川改良(交付金事業・単独事業)実施  
 ・「高塚川流域浸水対策アクションプラン」対策メニュー実施、進捗管理。  
 ・「浜松市総合雨水対策計画」の重点対策エリア抽出、エリア別計画の策定。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・河川改良(交付金事業・単独事業)実施  
 ・「高塚川流域浸水対策アクションプラン」対策メニュー実施、進捗管理。  
 ・「浜松市総合雨水対策計画」の重点対策エリア別計画と全体計画策定完了。  
 ・河川改修における関係機関との調整、事業計画策定のため、人工を拡大する。

# 事業シート (事業名) 浸水対策支援事業

## ◇事業目的・事業対象

・行政による浸水対策を補完するため、市民の自助・共助による対策を支援する。

## ◇事業の概要

・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的な運用を図る。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	5,000	14,013	20,124	16,000
	決算	2,754	7,119	12,296	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	2,754	7,119	12,296	16,000
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	1,400	2,800	2,100	2,100
	正規	0.2	0.4	0.3	0.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
浸水対策助成制度(土のうステーション)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	制度策定	63箇所	51箇所	10箇所		
実績値	策定	40箇所	40箇所			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合(%)				Ⅲ-1(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	77.0	78.0	79.0	79.0	80.0	
実績値	77.5	78.6	76.5			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						



◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・土のうステーションを他の浸水被害地区へ展開。
- ・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的な運用を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・土のうステーションを他の浸水被害地区へ展開。
- ・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的な運用を図る。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・土のうステーションを他の浸水被害地区へ展開。
- ・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的な運用を図る。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・土のうステーションを区役所等に設置して、広域的な運用を図る。

# 事業シート (事業名) 河川運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	9,163	9,074	7,667	7,707
	決算	6,294	6,608	6,861	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	6,294	6,608	6,861	7,707
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		8,780	8,420	9,480	11,600
人工	正規	1.1	1.1	1.2	1.4
	再任用(h31)	0.3	0.2	0.3	0.5
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

**政策シート** (政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 港湾費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な生活基盤づくり

◇政策の概要

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。  
 (港湾整備)

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	25,600	68,310	13,400	26,400
決算	8,165	18,025	12,395	
人件費(A)	3,500	3,860	3,160	1,400
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	11,665	21,885	15,555	27,800

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
港湾施設(導流堤)の改良率	%	100	目標	10	20	35	51
			実績	10	22	37	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。  
 (港湾整備)

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り  
 県浜名港港湾施設整備事業  
 (内容 今切口東導流堤老朽化対策)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	港湾整備事業			○		27,800	26,400	0.2				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						27,800	26,400	0.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 港湾整備事業

## ◇事業目的・事業対象

浜名湖(二級河川 都田川)内にある県管理浜名港の整備・維持管理事業への負担により、船舶の安全航行と災害防止をに寄与する。

## ◇事業の概要

### ◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
			自治事務	港湾法	-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	25,600	68,310	13,400	26,400
	決算	8,165	18,025	12,395	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	8,165	18,025	12,395	26,400
	一般会計繰入金				
	人件費(報酬等) (千円)				
人工	人件費 (千円)	3,500	3,860	3,160	1,400
	正規	0.5	0.5	0.4	0.2
	再任用(h31)		0.1	0.1	
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
港湾施設(導流堤)の改良率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	10	20	35	51		100
実績値	10	22	37			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

◆県営事業(負担金)

・県の浜名港港湾施設整備事業に対する負担金。

・事業の成果と課題

指標の達成度

港湾施設(導流堤)の改良  
今切口東導流堤老朽化対策

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・県事業費に対する所定の割合の負担金を拠出。

# 政策シート (政策名) 快適な道路・川づくり

(予算費目名) 都市下水路事業費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な生活基盤づくり

### ◇政策の概要

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。  
(都市下水路整備)

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	135,364	166,377	165,684	19,665
決算	165,288	59,804	140,322	
人件費(A)	2,100	2,100	2,100	1,400
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	167,388	61,904	142,422	21,065

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
都市下水路の整備率	%	100	目標	65	80	85	85
			実績	66.3	75	85	
			目標				
			実績				

### ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

・市民生活の安全・安心のために、水災害を防止・軽減する対策の検討や施設改修などにより、リスク低減を図る。  
(都市下水路整備)

### ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・西美園都市下水路整備工区完了
  - ・御前谷都市下水路の部分改良を計画



◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	都市下水路整備事業	○	○			21,065	19,665	0.2				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						21,065	19,665	0.2				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 都市下水路整備事業

## ◇事業目的・事業対象

・豪雨による市街地の浸水被害を防止・軽減するため、都市下水路の改修を実施する。

## ◇事業の概要

◆単独事業  
 ・御前谷都市下水路(医療センター新病棟建設関連)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38		一般会計	自治事務	下水道法	○	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	135,364	166,377	165,684	19,665
	決算	165,288	59,804	140,322	
	国・県支出				
	市債	126,200	54,900	114,200	
	その他		2,000		
	一般財源	39,088	2,904	26,122	19,665
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	1,400
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
都市下水路の整備率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	65	80	85	85		100
実績値	66.3	75	85			
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ◆単独事業 [決算140,322千円(うちH28繰越82,126千円)]
- ・西美園都市下水路、御前谷都市下水路

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・西美園都市下水路整備工区完了
- ・御前谷都市下水路の部分改良を計画

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・西美園都市下水路整備工区完了
- ・御前谷都市下水路の部分改良を計画

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・御前谷都市下水路整備の設計(医療センター新病棟建設関連)。